

## I <報 告>全九州水平社創立 100 周年記念集会

5月1日(月)午後1時30分から福岡市中央市民センターにて、標記集会が開催されました。開場は500人収容ということでしたが、座りきれない状況でした。

集会は、松本直巳さんの水平社宣言朗読から始まり、解放運動を担った先人への黙禱に続いて、当研究所新谷恭明理事長が実行委員長として開会のあいさつをしました。来賓として、服部誠太郎福岡県知事、吉田法稔福岡県教育長からの祝辞がありました。

新谷実行委員長は、ウクライナ情勢と台湾情勢を念頭にした日本の情報は、戦争を準備する方向で「多すぎる情報」として出されており、異論を封じ込めてしまいかねない状況が生まれている。わたしたちは、この100年間に情報が人権侵害を引き起こすということを痛感したはずなのに、日々流され接するこれらの情報への危惧を述べました。服部県知事は、松本治一郎の意志と不屈の精神を引き継いでこの記念集会があること、吉田県教育長は、田中松月を書いた教材が今でも使用されており、学びを保障する制度の実現につながっていることを述べました。

開会行事に続いて、森山沾一さん(当研究所理事)をコーディネーターに、組坂繁之さん(県連執行委員長)、中村久子さん(佐賀部落解放史研究所事務局長)をパネリストとして「これまでの100年とこれからの100年、部落解放運動をふりかえり、差別撤廃を展望する」と題してパネルディスカッションが行われました。

話された内容は多岐にわたりますが、その一部を紹介します。

全国水平社が創立されるずっと前、解放令からまもなくの明治14年には、福岡で差別の解消を求める「復権同盟」が結成されていたこと、その精神が、大正5年には博多毎日新聞社の差別記事への抗議行動につながっていったのではないかと、被差別民の連帯と行動力は、全九水設立の準備が十分にできていたことを示すものであったという印象を持ちました。

九州各県でも水平社が結成されていき、中でも、佐賀県水平社の結成に関わった藤原権太郎が、松本治一郎と出会いその人物に魅了されて、教師の職を辞して水平運動に身を投じた話は印象的でした。労農水三角同盟という言葉は初めてでしたが、働く者同志の連携した取組は、現在の企業同和問題推進連絡会に通じるものと思いました。また、部落解放運動は、国際的な差別撤廃運動にも寄与しており、その一つの活動として世界ダリット会議が福岡で開催されたということでした。

他にもたくさんのお話が出ましたが、これまでの100年とこれからの100年を語るには、90分は短すぎたようです。(会員)

## II <お知らせ>

### (1) 第1回部落史研究部会/史・資料プロジェクト合同研究会

日時：5月13日(土)14:00～

内容：「解放の父 松本治一郎への手紙 全国水平社を支えた人々との交流」について  
報告者：塚本博和

場所：古賀市ししぶ交流センター (JRししぶ駅西口)

(古賀市日吉3丁目14-3 TEL092-942-3243)

参加費：500円

詳細：<http://www.f-jinken.com/activity/burakshi.html>

(2) 第2回啓発部会

日時：5月27日(土)14:00～

内容：「人権問題に関する住民意識調査」の結果から明らかとなった課題と「アンコンシャスバイアス」「マイクロアグレッション」との関連を読み解く(仮)

会場：田川市民会館

詳細：<http://www.f-jinken.com/activity/keihatsu.html>

(3) 2023年度 公益社団法人福岡県人権研究所 定時会員総会

日時：5月28日(日)13:00(受付)13:30～

場所：(公財)福岡県人権啓発情報センター(ヒューマンアルカディア)視聴覚研修室  
(春日市原町3丁目1-7 JR春日駅前)

(4) 第1回外国人部会

日時：6月3日(土)14:00～

内容：「マイスマールランド」に学ぶ外個人の問題(鑑賞と講演)

講師：吉田 到さん

会場：北九州教育会館(北九州市小倉北区東篠崎3丁目4番1号)

詳細：<http://www.f-jinken.com/activity/gaikokujin.html>

(5) 第2回ジェンダー部会

日時：6月4日(日)14:00～

内容：森崎和江『からゆきさん』を読む 学習会

会場：事務局

詳細：<http://www.f-jinken.com/activity/gender.html>

(6) スタディツアー in 沖縄報告会のご案内

日時：6月10日(土)13:30～受付 14:00開始

内容：知花さんのDVDを見て、意見交流

会場：クローバープラザ西棟 5階セミナールームC

参加費：300円

\* 要出席連絡

連絡先 [nagauranosihou@ari.bbiq.jp](mailto:nagauranosihou@ari.bbiq.jp) (安河内メールアドレス)

090-2857-9318 (安河内携帯電話)

詳細：<http://www.f-jinken.com/activity/kaigaistudy.html>

(4) 第70北九州人権フォーラム21 市民講座

公益社団法人福岡県人権研究所 2023年度「人権啓発担当者をつどい」

日時：7月19日(水)18:30～21:00 (受付18:00～)

内容：講演「今、若者たちの自己実現を保障するために(仮題)」

講師：小西清則さん(元、福岡県人権・同和教育協議会 会長)

会場：北九州市立小倉南生涯学習センター・4F 大ホール

(北九州市小倉南若園5-1-5)

問合せ：090-2587-7822 北九州人権フォーラム21 中島弘陽

☆ホームページ

<https://www.f-jinken.com>

〔人権研究所の出版物〕

新谷恭明『校則なんて大嫌い！ー学校文化史のおきみやげー』

久米祐子『子どもから障害児を「分けない教育」の戦後史インクルーシブ教育とはー』

木村政伸『教室の灯は希望の灯 自主夜間中学「福岡・よみかき教室」の二五年 』

関 儀久『感染症と部落問題 近代都市のコレラ体験』

森山沾一・和智俊幸・横田司・坂田美穂『殉義の星と輝かん～百年生きる「解放歌」と柴田啓蔵』

部落史研究部会/史・資料プロジェクト『2020/2021 史・資料プロジェクト報告集「身分」を考える』

木村かよ子「ポストカード」5種5枚セット500円

☆お求めは

<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>

☆ニュースのバックナンバーは下記研究所公式サイトでご覧いただけます。

<http://www.f-jinken.com/newsliberacion.html>

◇みなさんの投稿お待ちしております。

[info@f-jinken.com](mailto:info@f-jinken.com)（登録解除はこちらから）

【公益社団法人福岡県人権研究所は、会員の会費で運営されています。】